



横浜市立つづきの丘小学校

つづきの空

学校だより

2月号

華いっぱい 夢いっぱい つづきのある学校

令和4年 1月 31日

冬季オリンピック

副校長 八田 安史

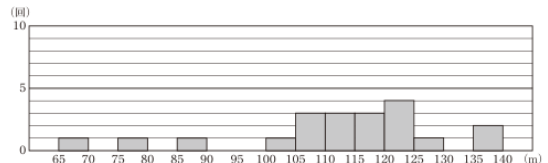
東京オリンピックの思い出がまだ記憶に新しい中、2月4日より冬季オリンピックが始まります。北京オリンピックではどのようなドラマがあるのか、今から楽しみです。冬季オリンピックで私が印象深い大会は1998年の長野オリンピックです。日本が金メダルをとった、スキージャンプ競技では、興奮しながらテレビの前で応援していたことを思い出します。

話は変わりますが、毎年、小学校第6学年と中学校第3学年を対象に、全国学力・学習状況調査を行っています。平成24年の全国学力・学習状況調査、中学校B問題で、次のような問題が出題されました。

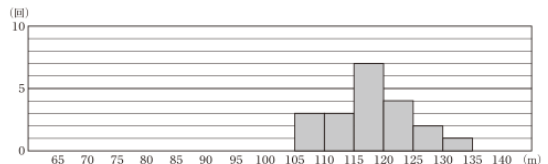
長野オリンピックの原田選手と船木選手を取り上げて、それぞれのオリンピックまでの国際大会の記録をまとめたヒストグラム（右図）をもとに、「次の1回でより遠くへ飛びそうな選手を選ぶとしたら、あなたならどちらを選びますか。」その理由を説明するという問題です。このヒストグラムは、6年生で学習する柱状グラフと同じです。

どちらを選んでも、判断の理由を数学的な表現を用いて、適切に説明できていれば正答となります。算数・数学というと、答えがはっきりしていて、正解か不正解かというものばかりでしたが、正解ではなく、納得解を論理的に説明するということに驚きましたし、算数・数学はもっと自分たちの人生で生かせるのではないかと思います、わくわくしました。

原田選手の記録



船木選手の記録



(2) 美咲さんは、もしこの二人がもう1回ずつ飛んだとしたら、どちらの選手がより遠くへ飛びそうかを、二人のヒストグラムをもとに考えてみたいと思いました。

二人のヒストグラムを比較して、そこから分かる特徴をもとに、次の1回でより遠くへ飛びそうな選手を一人選ぶとすると、あなたならどちらの選手を選びますか。下のア、イの中からどちらか一方の選手を選びなさい。また、その選手を選んだ理由を、二人のヒストグラムの特徴を比較して説明しなさい。どちらの選手を選んで説明してもかまいません。

ア 原田選手



令和の日本型学校教育の答申が出されて、1年が過ぎました。この答申の中に、『「予測困難な時代」であり、新型コロナウイルス感染症により一層先行き不透明となる中、私たち一人一人、そして社会全体が、答えのない問いにどう立ち向かうのかが問われている。目の前の事象から解決すべき課題を見だし、主体的に考え、多様な立場の者が協働的に議論し、納得解を生み出すことなど、正に新学習指導要領で育成を目指す資質・能力が一層強く求められていると言えよう』と書かれています。

本校でも、新学習指導要領で育成を目指す資質・能力を子どもたちが身に付けているように、学校教育活動を進めてまいります。